



令和3年度兵庫県公立学校 教員採用候補者選考試験実施要項

兵庫県教育委員会

令和3年度の兵庫県内公立小・中・特別支援学校（神戸市立を除く）および県立高等学校・市立定時制高等学校（尼崎市立定時制高等学校）の教員採用候補者選考試験を次のとおり行います。

なお、中学校、高等学校および養護教諭区分の合格者には、公立大学法人兵庫県立大学附属高等学校・中学校または市立全日制高等学校（尼崎市立高等学校・西宮市立高等学校・伊丹市立高等学校・明石市立高等学校・姫路市立高等学校）に採用される者も含まれます。

【昨年度からの主な変更点】

1 特別免許状授与を前提とした特別選考の拡大

高等学校「英語」でネイティブ英語教員の特別選考を実施します。

→P6のⅢ5(3)参照

2 英語資格所有者等への加点対象の追加（小学校・特別支援学校区分のみ）

海外大学または在外教育施設等における2年以上の英語を使用した海外留学・勤務経験を有する者を加点対象に追加します。

→P7のⅢ6(2)イ②参照

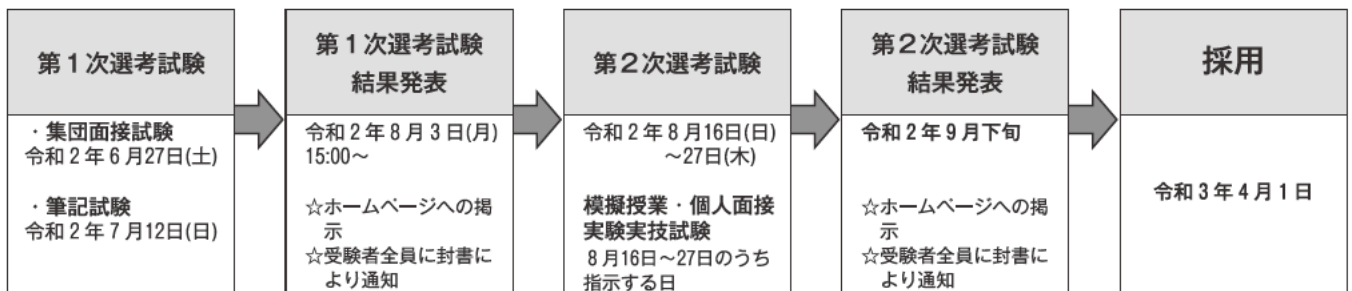
3 常勤の臨時講師の教職経験を有する者への加点措置の新設

神戸市立学校を除く本県内にある公立学校及び国公立大学法人附属学校において、常勤の臨時講師の教職経験を有する者に対して、第1次選考試験において加点措置を行います。

→P7のⅢ6(5)参照

☆出願から採用までのスケジュール

願書受付 令和2年4月20日(月)9:30～5月15日(金)17:00



目次

I 募集区分・教科・人数	・ P2	8 第2希望（中学校・特別支援学校区分、高等学校区分）	・ P 8
II 出願資格	・ P3	9 特別支援学校の希望（小学校・特別支援学校区分、中学校・特別支援学校区分）	・ P 8
III 出願について		10 採用地域希望優先制度（小学校・特別支援学校区分）	・ P 8
1 出願方法	・ P3	IV 選考試験の実施について	
2 提出書類	・ P3	1 選考試験の実施	・ P 9
3 受験票の交付	・ P4	2 第1次選考試験	・ P 9
4 選考試験の免除		3 第2次選考試験	・ P11
(1) 第1次選考試験免除	・ P4	V 異常気象、交通事故等発生時の選考試験実施情報について	・ P13
(2) 現職一般・専門試験免除	・ P5	VI 結果発表等について	
5 特別選考		1 選考試験の結果発表	・ P13
(1) 障害者を対象とした特別選考	・ P6	2 採用に際しての留意事項	・ P14
(2) 複数中学校免許所有者への特別選考	・ P6	3 採用時の特例	・ P14
(3) 特別免許状授与を前提とした特別選考	・ P6	VII 試験当日のお知らせ	・ P14
6 加点措置	・ P7	出願（電子申請）の手引き	・ P15～
7 配慮措置	・ P8		

I 募集区分・教科・人数

区 分	教 科	人 数
(1) 小学校・特別支援学校		小学校 380名
(2) 中学校・特別支援学校	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語	中学校 270名
(3) 高等学 校	国語、地理歴史・公民、数学、理科(物理、化学、生物)、保健体育、音楽、書道、英語、家庭、情報、農業(農業・園芸)、工業(機械、電気・電子、建築)、商業、水産、看護、福祉	170名
(4) 特別支援学校	「小・特」、「中・特」の特別支援学校希望を含む	100名
(5) 養 護 教 諭		35名
(6) 栄 養 教 諭		10名
(7) 障害者を対象とした特別選考	募集するすべての区分および教科	いずれも若干名 (採用予定数は全体の数に含みます。)
(8) 特別免許状授与を前提とした特別選考	高等学校「ネイティブ(英語)」・「看護」・「福祉」	
合 計		965名

<中学校：教科別内訳>

校 種	教 科	人 数
中学校	国 語	41名
	社 会	35名
	数 学	36名
	理 科	36名
	音 楽	18名
	美 術	16名
	保健体育	26名
	技 術	11名
	家 庭	16名
	英 語	35名
合 計		270名

<高等学校：教科・科目別内訳>

校 種	教 科	人 数
高等学校	国 語	22名
	地理歴史・公民	21名
	数 学	32名
	理 科	18名
	保健体育	14名
	音 楽	5名
	書 道	2名
	英 語	26名
	家 庭	2名
	情 報	8名
	農 業	4名
	工 業	4名
	商 業	6名
	水 産	1名
看 護	2名	
福 祉	3名	
合 計		170名

※理科は物理、化学、生物をまとめた人数

※工業は機械、電気・電子、建築をまとめた人数

Ⅱ 出願資格

- (1) 地方公務員法第16条の欠格条項および学校教育法第9条の欠格事由に該当しない者であること。
 - (2) 小・中・高・特別支援学校を受験する者は、それぞれの教諭普通免許状（実習免許状および自立活動免許状を除く）、高等学校「地理歴史・公民」を受験する者は、地理歴史および公民の普通免許状、高等学校「水産」を受験する者は、水産または商船の普通免許状、養護教諭を受験する者は、養護教諭普通免許状、栄養教諭を受験する者は、栄養教諭普通免許状を所有する者であること。または令和3年4月1日までに取得見込みの者であること。
 - (3) 昭和36年4月2日以降に生まれた者であること。
 - (4) 「中学校・特別支援学校区分」または「高等学校区分」の英語を受験する者は、以下の①～④のいずれかの資格を出願時に有している者であること。
 - ① 英語検定2級以上
 - ② TOEIC(L&R)550点以上
 - ③ TOEFL(iBT)60点以上
 - ④ 国連英検B級以上
- ※1 ②については、TOEIC(IP)は対象外。
 ※2 ③については、有効期限内のものに限る。また、TOEFL(CBT)は2006年に廃止されているため対象外。
- (5) 高等学校「福祉」「情報」を受験する者は、受験教科の高等学校教諭普通免許状所有（または令和3年4月1日までに取得見込み）に加え、他の教科の高等学校教諭普通免許状を所有（または令和3年4月1日までに取得見込み）する複数免許所有者であること。ただし、「福祉」受験者のうち「介護福祉士」の正規職員として5年以上の勤務経験を有する者は除く。

Ⅲ 出願について

1 出願方法

出願は、電子申請（インターネット）でのみ受け付けます。 ※ 郵送および持参による受付は行いません。

ただし、下記「2 提出書類」記載の書類は出願期間内に郵送または持参してください。

- (1) 出願期間 令和2年4月20日(月) 9時30分～5月15日(金) 17時
 - (2) 出願方法 教職員課ホームページ(アドレス→P14参照)から電子申請画面へ移動し、入力、申込をしてください。
 - (3) 手続の流れ
 - ① ホームページ（アドレス→P14参照）から電子申請画面へ移動
 - ② 電子申請画面で申込内容の入力
 - ③ 「申し込む」ボタンクリックにより受験申込完了（完了後、申込完了画面が表示されます）
- ※1 複数の区分・教科への出願は認めません。重複して出願した場合はすべて無効とします。
 ※2 出願後の入力内容の変更は認めません。
 ※3 身体等の事情により、受験に際して特に配慮を必要とする者は、必要事項を電子申請画面で入力してください。

2 提出書類（1による出願をインターネット上で行った上で、下記の書類を郵送または持参してください。）

- (1) 「受験者全員」 切手2枚(貼付用紙に63円切手1枚・84円切手1枚を貼ること)
 - ※1 ホームページ（アドレス→P14参照）からダウンロードした様式をプリントアウトしたものを貼付用紙として使用すること。
- (2) 「英語受験者全員」（Ⅱ(4)）出願資格となる英語資格を所有していることを証明する書類
- (3) 「下表の対象者に該当する者のうち、免除等を希望する者」

対象者	必要書類（※1）	参照
令和元年度実施の本県教員採用試験の第2次選考試験において“条件付合格”と判定され採用に至らなかった者	履歴証明書B (兵庫県教育委員会・国公立大学法人任用の場合) 履歴証明書C (兵庫県内市町組合教育委員会任用の場合)	P4 4(1)①
「平成29年度実施」または「平成30年度実施」の本県教員採用試験の第2次選考試験において“1次試験免除”と判定された者	履歴証明書B (兵庫県教育委員会・国公立大学法人任用の場合) 履歴証明書C (兵庫県内市町組合教育委員会任用の場合)	P5 4(1)②
高等学校「看護」の免許を有し、看護師等の経験を有する高等学校「看護」受験者	履歴証明書D	P5 4(1)③
本県の正規の教諭、養護教諭または栄養教諭として過去に勤務経験のある者	履歴証明書B（※2）	P5 4(1)④
現職の教諭、養護教諭、栄養教諭	履歴証明書A	P5 4(2)
障害者を対象とした特別選考の受験者	身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳または療養手帳等（写）（※3）	P6 5(1)
特別免許状授与を前提とした特別選考	高等学校「看護」「福祉」受験者	履歴証明書D
	高等学校「ネイティブ（英語）」受験者	パスポート、在留カード等国籍を証明できる書類（写）、大学また大学院の卒業（修了）を証明できる書類（写）、履歴証明書D
加点措置を希望する者	資格を証明できる書類（写）	P7 6(1)～(4)
本県内の臨時講師経験者（2年以上、かつ、出願時）	履歴証明書B	P7 6(5)

※1 「履歴証明書A、B、C、D」の様式は、ホームページよりダウンロードできますが、様式の項目が満たされていればその他の様式でも構いません。いずれの場合も所属長（校長）または任命権者の証明印が必要です。

証明を依頼する際、人事通知書の写しを必ず添付してください。

[所属長（校長）の証明の場合]

勤務したそれぞれの所属（学校）の証明が必要となります。

[任命権者の証明の場合]

兵庫県内の市町立学校の場合、同一教育事務所管内の学校であれば、所管教育事務所で一括して証明できます。詳しくは、所管教育事務所へお問い合わせください。

兵庫県内の県立学校の場合、県教育委員会事務局教職員課で一括して証明できます。

兵庫県内の市町組合教育委員会（神戸市を除く）の場合は、任用されている各市町組合教育委員会で証明をもらってください。

※2 P5 4(1)④(ア)および(イ)の勤務経験の両方の証明が必要です。

※3 障害者手帳等の交付機関名、交付年月日（再交付年月日）、障害名、障害者等級表による級別の記載されたページの写し

(4) 提出期間 令和2年4月20日(月)9時30分～5月15日(金)17時（出願期間と同じ）

※5月15日(金)の消印有効、国内郵便に限る

(5) 提出方法 郵送または持参による。大学・短大卒業見込みの者については、可能な限り、大学・短大経由で一括して提出してください。具体的な取扱いは、それぞれの大学・短大の指示に従ってください。

〔郵送の場合〕必ず簡易書留としてください。

（提出先）〒650-8567（この郵便番号を使うと住所の記載は不要ですが、宛先は記載してください。）

兵庫県教育委員会事務局教職員課 選考試験係

なお、郵送の封筒は角2号(240mm×331mm)を使用し、表面に〔出願関係書類在中、高校・国語〕のように出願の区分および教科を朱書してください。また、消印の日を必ず確認してください。

〔持参の場合〕兵庫県教育委員会事務局教職員課まで持参してください。

（受付場所）受付時間：9時30分～17時00分（土・日曜日を除く）

3 受験票の交付

受験票は、令和2年6月中旬に発送します。

令和2年6月17日(水)の時点で受験票が到着しない場合は、選考試験係までお問い合わせください。

4 選考試験の免除

(1) 第1次選考試験免除

次の①～④の者については、希望により第1次選考試験を免除しますので、希望する者は電子申請の所定欄に入力してください。

①

令和元年度実施の本県教員採用試験の第2次選考試験において、“条件付合格”と判定され採用に至らなかった者

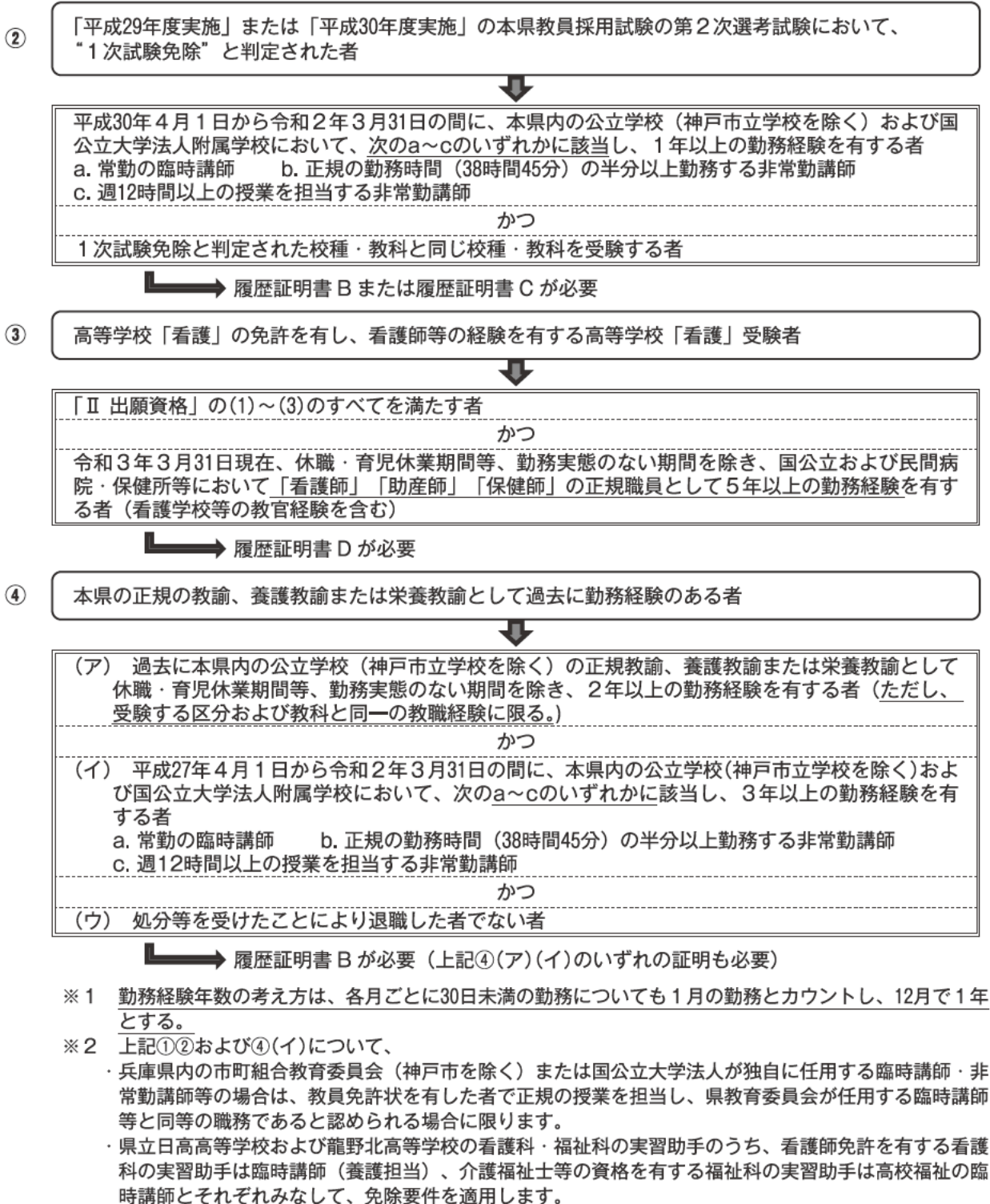


出願時点において、大学院修士課程在学、もしくは本県内の公立学校（神戸市立学校を除く）及び国立公立大学法人附属学校において、次のa～cのいずれかに該当する者
a. 常勤の臨時講師 b. 正規の勤務時間（38時間45分）の半分以上勤務する非常勤講師
c. 週12時間以上の授業を担当する非常勤講師

かつ

条件付合格と判定された校種・教科と同じ校種・教科を受験する者
（「小学校・特別支援学校区分」および「中学校・特別支援学校区分」については、条件付合格と判定された区分および教科を第1希望として出願する場合に限る。）

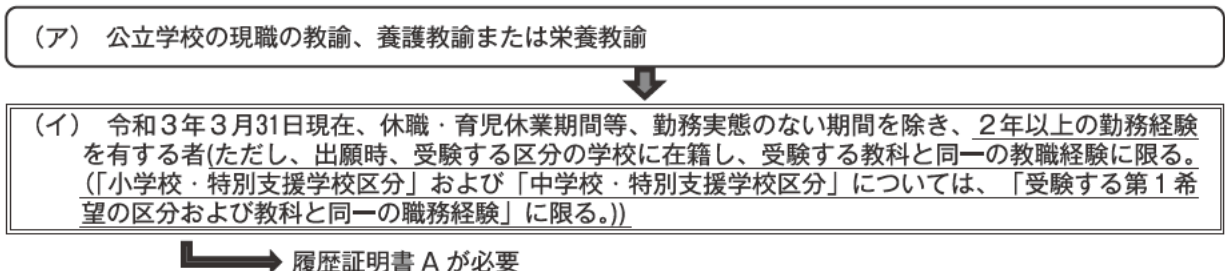
➡ 大学所定の証明書、履歴証明書Bまたは履歴証明書Cが必要



(2) 現職一般・専門試験免除（第1次選考試験は集団面接試験を実施）

次の各号すべてに該当する者は、第1次選考試験において一般教養試験と教科専門試験を免除しますので、現職一般・専門試験免除を希望する者は電子申請の所定欄に入力してください。

また、免除と認定した者には、受験票の現職一般・専門免除欄にその旨印字しますので必ず確認してください。



5 特別選考

(1) 障害者を対象とした特別選考

次の各号すべてに該当する者は、障害者を対象とした特別選考を受験することができます。なお、試験内容等は一般選考と同じですが、選考にあたっては、一般の受験者に優先して行います。

なお、身体等の事情により、受験に際して特に配慮を必要とする場合は、必要事項を電子申請の所定欄に入力してください。

(ア) 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳または療育手帳のいずれかを有している者（障害者職業センター等の公的判定機関で知的障害者と判定された者を含む）
かつ
(イ) 「Ⅱ 出願資格」は一般選考と同じ

➡ 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳等（いずれも写し）が必要

(2) 「音楽」「美術」「技術」「家庭」のいずれかを含む複数中学校免許所有者への特別選考

次の各号すべてに該当する者は、中学校・特別支援学校区分において、「音楽」「美術」「技術」「家庭」のいずれかを含む複数の免許所有者は、希望により特別選考を受験することができます。試験内容等は一般選考と同じですが、選考にあたっては一般の受験者に優先して行います。

なお、特別選考で合格した場合は、①志望する教科および「音楽」「美術」「技術」「家庭」のいずれかを指導すること、②採用地域で一定期間（9年間以上）勤務することを採用の条件とします。

(ア) 「音楽」「美術」「技術」「家庭」のいずれかを含む複数の中学校普通免許状を有している者（取得見込者も含む）
かつ
(イ) 「Ⅱ 出願資格」は一般選考と同じ

(3) 特別免許状授与を前提とした特別選考

（高等学校「ネイティブ（英語）」、高等学校「看護」、高等学校「福祉」）

次の各号すべてに該当する者は、教育職員免許状を有しない者を対象とした特別選考を受験することができます。

なお、選考方法（試験内容・日時・会場等）は一般選考と同じです。

ただし、「ネイティブ（英語）」受験者については、第1次選考試験において集団面接および筆記試験の一般教養を免除します。（教科専門のみ実施）

高等学校「ネイティブ（英語）」・「看護」・「福祉」受験者

(ア) 「Ⅱ 出願資格」の(1)および(3)の両方を満たす者
かつ
(イ)
「ネイティブ（英語）」 次の1～4の要件をすべて満たす者 1 英語を母国語または公用語とする国の国籍を有する者 2 英語を母国語または公用語とする国において、大学または大学院を卒業（修了）し、学士以上の学位を取得している者 3 以下の機関等において①の勤務経験が2年以上、かつ、①～④も含めて通算3年以上ある者 ① 高等学校（教諭、講師、外国語指導助手） ② 大学および各種学校（助教、助手、講師等） ③ 企業（語学学校を含む。高校生、大学生もしくは社会人に英語を指導した者） ④ 日本以外の国にある日本の高等学校に準ずる教育機関 4 教員の職務を行う上で必要とされる日本語運用能力を有する者
「看護」 令和3年3月31日現在、休職・育児休業等、勤務実態のない期間を除き、国公立および民間病院・保健所等において、「看護師」「助産師」「保健師」の正規職員として5年以上の勤務経験を有する者（看護学校の教官経験を含む）
「福祉」 令和3年3月31日現在、休職・育児休業等、勤務実態のない期間を除き、国公立および民間病院・保健所等において、「介護福祉士」の正規職員として5年以上の勤務経験を有する者
かつ
(ウ) 該当教科の教員として勤務を行うのに必要な高い専門知識・技能を有する者

➡ 「ネイティブ(英語)」 パスポート、在留カード等、国籍を証明できる書類(写)、大学または大学院の卒業(修了)を証明できる書類(写)、履歴証明書 D が必要
「看護」「福祉」 履歴証明書 D が必要

6 加点措置

以下(1)～(5)に該当する者については、第1次選考試験において加点しますので、加点措置を希望する者は、電子申請の所定欄に入力してください。また、資格等を証明できる書類(写)を提出してください。資格等を確認できない場合は加点措置を行いません。なお、加点の最大は30点です。

	対 象	加 点																											
(1)	<p>一芸、一能に秀でた者(高校在学中および卒業後) 体育分野および芸術分野において、下表の経験を有する者</p> <table border="1"> <tr> <td>体育分野</td> <td>国際大会：選手として参加 (アジア大会、ユニバーシアード、オリンピック等) 全国大会：選手として全日本選手権6位以内、国体、インカレ、インターハイ等3位以内</td> </tr> <tr> <td>芸術分野</td> <td>国際大会：参加 全国大会：3位以内(日展、吹奏楽コンクール等)</td> </tr> </table>	体育分野	国際大会：選手として参加 (アジア大会、ユニバーシアード、オリンピック等) 全国大会：選手として全日本選手権6位以内、国体、インカレ、インターハイ等3位以内	芸術分野	国際大会：参加 全国大会：3位以内(日展、吹奏楽コンクール等)	20点																							
体育分野	国際大会：選手として参加 (アジア大会、ユニバーシアード、オリンピック等) 全国大会：選手として全日本選手権6位以内、国体、インカレ、インターハイ等3位以内																												
芸術分野	国際大会：参加 全国大会：3位以内(日展、吹奏楽コンクール等)																												
(2)	<p>英語資格所有者等 ア 出願時点において下表の資格を有する者(「小学校・特別支援学校区分」の受験者、「中学校・特別支援学校区分または高等学校区分」の英語受験者)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格名</th> <th>小学校・特別支援学校受験者</th> <th>中・特または高等学校の英語受験者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 英語検定</td> <td>準1級以上</td> <td>1級</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">② TOEIC</td> <td>S&W 1095点以上</td> <td>310点以上 785点以上</td> </tr> <tr> <td>L&R</td> <td>1305点以上 360点以上 945点以上</td> </tr> <tr> <td>③ TOEFL(iBT)</td> <td>72点以上</td> <td>95点以上</td> </tr> <tr> <td>④ 国連英検</td> <td>B級</td> <td>A or A特級</td> </tr> <tr> <td>⑤ ケンブリッジ英検</td> <td>FCE(160点)以上</td> <td>CAT(180点)以上</td> </tr> <tr> <td>⑥ IELTS</td> <td>5.5点以上</td> <td>7点以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑦ GTEC</td> <td>Advanced</td> <td rowspan="2">1350点以上</td> </tr> <tr> <td>CBT</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 一定の英語力を有する者(「小学校・特別支援学校区分」の受験者のみ) ① 中学校または高等学校「英語」の免許状を有する者 ② 海外大学または在外教育施設等における2年以上の英語を使用した海外留学・勤務経験を有する者</p>	資格名	小学校・特別支援学校受験者	中・特または高等学校の英語受験者	① 英語検定	準1級以上	1級	② TOEIC	S&W 1095点以上	310点以上 785点以上	L&R	1305点以上 360点以上 945点以上	③ TOEFL(iBT)	72点以上	95点以上	④ 国連英検	B級	A or A特級	⑤ ケンブリッジ英検	FCE(160点)以上	CAT(180点)以上	⑥ IELTS	5.5点以上	7点以上	⑦ GTEC	Advanced	1350点以上	CBT	20点
資格名	小学校・特別支援学校受験者	中・特または高等学校の英語受験者																											
① 英語検定	準1級以上	1級																											
② TOEIC	S&W 1095点以上	310点以上 785点以上																											
	L&R	1305点以上 360点以上 945点以上																											
③ TOEFL(iBT)	72点以上	95点以上																											
④ 国連英検	B級	A or A特級																											
⑤ ケンブリッジ英検	FCE(160点)以上	CAT(180点)以上																											
⑥ IELTS	5.5点以上	7点以上																											
⑦ GTEC	Advanced	1350点以上																											
	CBT																												
(3)	<p>資格を有する者 下表の資格を有する者</p> <table border="1"> <tr> <td>臨床心理士の資格所有者</td> <td rowspan="2">20点</td> </tr> <tr> <td>視能訓練士、手話通訳士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の資格所有者</td> </tr> <tr> <td>【高校「福祉」受験者】 介護福祉士または看護師の資格を有し、5年以上の実務経験を有する者</td> <td rowspan="2">10点</td> </tr> <tr> <td>【「家庭」受験者】栄養士、管理栄養士、調理師の資格所有者 司書教諭資格所有者(司書教諭資格講習修了者も含む)</td> </tr> </table>	臨床心理士の資格所有者	20点	視能訓練士、手話通訳士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の資格所有者	【高校「福祉」受験者】 介護福祉士または看護師の資格を有し、5年以上の実務経験を有する者	10点	【「家庭」受験者】栄養士、管理栄養士、調理師の資格所有者 司書教諭資格所有者(司書教諭資格講習修了者も含む)																						
臨床心理士の資格所有者	20点																												
視能訓練士、手話通訳士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の資格所有者																													
【高校「福祉」受験者】 介護福祉士または看護師の資格を有し、5年以上の実務経験を有する者	10点																												
【「家庭」受験者】栄養士、管理栄養士、調理師の資格所有者 司書教諭資格所有者(司書教諭資格講習修了者も含む)																													
(4)	<p>国際貢献活動の経験がある者 青年海外協力隊(JICA)での国際貢献活動において2年以上の活動経験を有する者</p>	20点																											
(5)	<p>神戸市立学校を除く本県内にある公立学校および国公立大学法人附属学校(以下「本県内国公立学校」という)において、常勤の臨時講師の教職経験を有する者 平成29年4月1日から令和2年3月31日の間に本県内国公立学校において、常勤の臨時講師として2年以上の教職経験を有し、かつ、出願時においても本県内国公立学校の常勤の臨時講師として任用されている者 ただし、受験する区分および教科と同一の教職経験に限る。(「小学校・特別支援学校区分」および「中学校・特別支援学校区分」については、「第1希望として出願する区分および教科と同一の教職経験」に限る。) ※ 教職経験年数の考え方は、各月ごとに30日未満の勤務についても1月の勤務とカウントし、12月で1年とする。</p>	20点																											

➡ (1)～(4)について、資格等を証明できる書類(写)の提出が必要
(5)については履歴証明書Bが必要

7 配慮措置

次の(1)～(2)に該当する者については、選考に際して参考としますので、電子申請の所定欄に入力してください。必要に応じて証明書等を提出していただくことがあります。

(1)	異校種・複数教科の免許等を持つ者	
	小特・中特受験者	小学校と中学校の免許を所有する者
	中特受験者	中学校において複数教科の免許状を有する者
	高校受験者	高等学校において複数教科の免許状を有する者 ※「福祉」「情報」は複数所有が出願資格であるため除く
	特別支援学校受験者	高等学校のいずれかの免許を有する者
(2)	看護師の実務経験が5年以上の者（「養護教諭」受験者）	

8 第2希望〔中学校・特別支援学校区分、高等学校区分〕

中学校・特別支援学校区分（国語・数学・音楽・保健体育・家庭・英語）および高等学校区分（国語・数学・保健体育・音楽・英語・家庭）の受験者のうち当該免許を持つ者は、第2希望として高等学校（国語・数学・保健体育・音楽・英語・家庭）または中学校・特別支援学校区分（国語・数学・音楽・保健体育・家庭・英語）を希望することができます。

また、養護教諭区分の受験者のうち高等学校看護の免許を持つ者は、第2希望として高等学校区分の看護を希望することができます。希望する者は、電子申請の所定欄に入力してください。

※1 中学校・特別支援学校区分の受験者で、特別支援学校免許を持つ者が中学校を第1希望とする場合の第2希望は、高等学校または特別支援学校のいずれか一方しか認めません。

※2 中学校・特別支援学校区分の受験者で、「5(2)「音楽」「美術」「技術」「家庭」のいずれかを含む複数中学校免許所有者への特別選考」を希望する場合は、特別支援学校の第2希望は認めません。

9 特別支援学校の希望〔小学校・特別支援学校区分、中学校・特別支援学校区分〕

小学校・特別支援学校区分または中学校・特別支援学校区分の受験者のうち、特別支援学校免許所有者は、「特別支援学校」を第1希望または第2希望として希望できます。受験区分が「小学校・特別支援学校」または「中学校・特別支援学校」の者は全員、以下の希望パターンに応じて、電子申請の所定欄に入力してください。

受験区分	試験内容	希望パターン	
小学校・特別支援学校	小学校と同じ	第1希望＝小学校	第2希望＝特別支援学校
		第1希望＝特別支援学校	第2希望＝小学校
		第1希望＝小学校	第2希望＝なし
		第1希望＝特別支援学校	第2希望＝なし
中学校・特別支援学校	中学校と同じ	第1希望＝中学校	第2希望＝特別支援学校
		第1希望＝特別支援学校	第2希望＝中学校
		第1希望＝中学校	第2希望＝なし
		第1希望＝特別支援学校	第2希望＝なし

10 採用地域希望優先制度〔小学校・特別支援学校区分〕

但馬、丹波、淡路の各地域で、ふるさとへの愛着と誇りを持ち、地域の教育課題を十分認識するなど、子どもたちのふるさと意識醸成にむけた教育を推進できる教員を確保するため、「小学校・特別支援学校」区分において、「採用地域希望優先制度」を実施します。

出願時にこの制度を希望し、一定の成績で合格した者は、希望した地域の市町組合立小学校での採用となります。（採用後において、当該地域で原則10年以上勤務することが採用の条件となります。）

この制度を希望する場合は、電子申請の所定欄に入力してください。

※ この制度は、配置にあたって希望を優先するものであり、選考方法は一般選考と同様で、選考に際して有利となるものではありません。また、この制度は、小学校区分で合格した場合のみ適用となります。

IV 選考試験の実施について

1 選考試験の実施

受付時間に遅刻した者は、受験できませんので注意してください。

- ※1 受付後、試験終了まで会場敷地外へ出ることはできません。
- ※2 出願後に受験を辞退する場合の連絡は不要です。試験を欠席された時点で辞退として取り扱います。
- ※3 試験場入口から受付場所まで時間のかかる会場もありますので、注意してください。
- ※4 公共交通機関を利用して来場してください。
(会場および会場付近の店舗等の駐車場に自家用車、自動二輪車、原動機付自転車等を駐車することは認めません。また、近隣住民への迷惑防止及びトラブル防止のため、会場付近のコンビニ等での駐車や会場付近での乗降、折り返し等は固く禁じます。なお、身体的な事情により、公共交通機関での来場が困難な方は、事前にご相談ください。)
- ※5 各会場は全面禁煙になっていますのでご協力ください。
- ※6 上ばき、筆記用具等の各会場での貸し出しは行いません。
- ※7 試験場については、P26～28の地図を参照してください。

2 第1次選考試験

(P4 4(1) 「第1次選考試験免除」に該当する受験者は受験する必要はありません。)

(1) 集団面接試験

日時 令和2年6月27日(土)

内容 ※集団面接のテーマについては6月中旬頃までにホームページに掲載します。

試験区分	時間	内容	配点
集団面接	約20分	・受験者8人程度に対して、面接委員は2人程度。集団討議を実施する。	100点

試験場

区分・教科	試験場	
区分・教科ごとの試験場や受付時間等は、6月上旬にホームページへ掲載します。	兵庫県立大学神戸商科キャンパス (神戸市西区学園西町8-2-1) 神戸親和女子大学鈴蘭台キャンパス (神戸市北区鈴蘭台北町7-13-1)	県立御影高等学校 (神戸市東灘区御影石町4-1-1) 県立加古川東高等学校 (加古川市加古川町粟津232-2) 県立播磨南高等学校 (加古郡播磨町古宮4-3-1)

携行品

受験票、筆記用具(HB鉛筆、消しゴムを含む)、上ばき(兵庫県立大学、神戸親和女子大学、御影高等学校は不要)

集団面接試験の評定

集団面接試験は次の評定項目に基づいて3段階評定で実施します。

評定項目	主な内容
(1) 健康度	困難を克服する精神力や健康性に関する評価
(2) 積極性	仕事に対する意欲や情熱に関する評価
(3) 共感性	児童生徒に対する共感性に関する評価
(4) 社会性	周囲とのコミュニケーション能力に関する評価

(2) 筆記試験

日 時 令和2年7月12日(日) 受付時間 8時20分～8時50分 試験 9時00分～12時35分

内 容

試験区分	時 間	内 容		配点
一般教養	60分	一般教養に関するもの (英語の運用力をみる問題、情報機器等の利用についての問題、教職教養に関する問題、時事問題を含む。)	択一式	100点
教科専門	90分	・小学校・特別支援学校区分は5教科(国語、社会、算数・数学、理科、英語)[概ね義務教育課程修了程度] ・それ以外は出願教科の専門に関するもの ※2	記述式	200点

※1 現職の教諭等で一般教養・教科専門試験の免除を希望する受験者(P5 4(2)「現職一般・専門試験免除」参照)については、筆記試験が免除されます。

※2 「ネイティブ(英語)」受験者については、集団面接および筆記試験の一般教養を免除されます。

※3 高等学校の次の教科については、出題区分に応じて教科共通の問題と次に掲げる各科目・分野の専門に関する内容とします。

教科	科 目	教科	科 目 (分野)
理 科	物理、化学、生物	農 業	農業・園芸
		工 業	機械、電気・電子、建築

※4 筆記試験問題用紙は持ち帰ることができます。

※5 受付以降、試験終了までの間は試験場からの外出はできません。

試験場

区分・教科	試 験 場	
区分・教科ごとの試験場は、6月下旬にホームページへ掲載します。	関西学院大学西宮聖和キャンパス (西宮市岡田山7-54) 神戸親和女子大学鈴蘭台キャンパス (神戸市北区鈴蘭台北町7-13-1) 神戸女子大学須磨キャンパス (神戸市須磨区東須磨青山2-1)	県立伊川谷北高等学校 (神戸市西区学園西町6-1) 県立播磨南高等学校 (加古郡播磨町古宮4-3-1) 県立尼崎稲園高等学校 (尼崎市猪名寺3-1-1)

携行品

受験票、筆記用具(鉛筆、消しゴムを含む)、上ばき(関西学院大学、神戸親和女子大学、神戸女子大学は不要)(次の教科を受験する者は、下表の用具を持参してください。)

中学校・特別支援学校 高 等 学 校	数学	直定規、コンパス	高 等 学 校	商業	電卓または算盤
	理科	直定規		工業	直定規
中学校・特別支援学校	技術	直定規、三角定規(1組)、コンパス、分度器			
栄 養 教 諭		電卓			

3 第2次選考試験

(1) 模擬授業・個人面接試験（すべての区分・教科で実施します）

日程等

区分・教科	実施日	試験場	受付時間等	携行品
小学校・特別支援学校 特別支援学校 養護教諭 栄養教諭	令和2年 8月16日(日) ～ 8月27日(木) のうちいずれか 1日	兵庫県立大学神戸商科キャンパス (神戸市西区学園西町8-2-1)	第1次選考試験結果 発表時にホームページへ掲載します。 ※ 文書による通知 は行いません。 ※ <u>日時の変更希望 には対応できません。</u>	・受験票 ・筆記用具 (鉛筆、消しゴムを含む) ・94円切手1枚 ・上ばき (兵庫県立大学、の じぎく会館、兵庫 県民会館は不要) ※ 試験場からの外 出はできません。
中学校・特別支援学校		県立明石城西高等学校 (明石市大久保町谷八木1190-7)		
		県立芦屋高等学校 (芦屋市宮川町6-3)		
国語、社会 数学、理科 音楽、美術 保健体育 技術、家庭 英語	県立加古川西高等学校 (加古川市加古川町本町118)	県立姫路東高等学校 (姫路市本町68-70)	県立のじぎく会館 (神戸市中央区山本通4-22-15)	兵庫県民会館 (神戸市中央区山本通4-16-3)
高等学校		のいずれか		
国語 地理歴史・公民 数学、理科 保健体育 音楽、書道 英語、家庭 情報、農業 工業、商業 水産、看護 福祉		※ 区分・教科ごとの試験場は、 第1次選考試験の結果発表時 にホームページへ掲載します。		

※1 試験場については、P26～28の地図を参照してください。

※2 模擬授業・面接試験は、1次試験で合格と判定された校種・教科で実施します。

※3 中学校・特別支援学校区分における特別支援学校区分での合格者については、特別支援・専門教科ともに模擬授業を実施します。なお、個人面接については、特別支援学校区分で実施します。

内容

試験区分	時間	内容	配点
模擬授業	約15分	受験区分に応じて、約15分の模擬授業を実施する。模擬授業では、必ず板書を使用することとする。(ただし、養護教諭区分受験者には、模擬授業にかえて、約8分間の模擬保健指導を実施し、板書を使用しなくてもよい) なお、模擬授業や模擬保健指導の詳細な内容については、面接開始前に示すが、おおよその分野等については令和2年7月下旬までにホームページでお知らせします。	120点
個人面接	約25分 (養護教諭区分は、約32分)	場面指導(学校現場において想定される生徒指導や保護者対応等)にかかる試問を含めて実施する。 【主な試問例】 ・願書の記載内容について・志望動機について・理想の教員像について ・これまで努力してきたこと・教育法規等 ※なお、この例のすべてが全員に必ず試問されるとは限りません。	180点

※ いずれも、受験者1人に対して、面接委員は3人程度。

模擬授業の評定

模擬授業は次の評定項目に基づいて5段階評定で実施します。

評定項目	主な内容
(1) 教材内容に関する知識・理解	教科等の専門知識に関する評価
(2) 構成力	授業の構成に関する評価
(3) 声・表情・所作	教員としての所作等に関する評価

個人面接試験の評定

個人面接試験は次の評定項目に基づいて5段階評定で実施します。

評定項目	主な内容
(1) 態度・表現力	表情や話し方に関する評価
(2) 意欲・積極性	仕事に対する意欲や情熱に関する評価
(3) 判断力	状況に応じた判断力に関する評価
(4) 専門性	教科科目の専門的指導力に関する評価
(5) 将来性	教員としての資質や人間性に関する評価

(2) 実験実技試験（下表の区分・教科のみ実施します）

区分 教科	実施日	試験場	実験実技試験の内容及び携行品		
			内容	携行品	
小学校・ 特別支援学校 音楽・体育 いずれも実施		県立夢野台高等学校 (神戸市長田区房王寺町2-1-1)	音楽実技	○歌唱：「もみじ」(文部省唱歌) ※ 無伴奏、任意の調 ○器楽：「まきばの朝」(文部省唱歌) ※ キーボード、鍵盤ハーモニカ またはソプラノリコーダーの いずれかを選択して演奏 ※ 楽譜は5月末にホームページ に掲載	※ 歌唱・器楽ともに楽 譜を見ながらの演奏も 可(会場の楽譜を使用 すること) ※ 器楽にて、キーボ ード以外の楽器(鍵盤 ハーモニカ、ソプラ ノリコーダー)を使用す る場合は、各自で持参
			体育実技	○ 器械運動(マット運動) ○ ボール運動(バスケットボール)	運動のできる服装、 体育館シューズ (上ばきとは別のもの)
中学校・特別支援学校・高等学校	令和2年 8月16日(日) ~ 8月27日(木) のうちいずれか 1日	県立西宮高等学校 (西宮市上甲東園2-4-32)	音楽	○ 新曲視奏(アルトリコーダー) ○ 弾き語り ○ 和楽器演奏(任意の楽器、任意の曲) ※ 選考試験係で用意する楽器は、 箏、和太鼓のみ ※ その他の和楽器は、各自で用意 ○ 専門実技	アルトリコーダー、 専門実技に使用する 楽器
			家庭	○ 被服、食物に関する基礎的・基本的な 技術	裁縫用具、実習用白 衣、三角巾
		理科	○ 実験・観察	実験用白衣	
		保健 体育	○ 器械運動 ○ 陸上競技 ○ 水泳 ○ 球技(バスケットボールまたは バレーボール) ○ 武道(柔道または剣道)またはダンス	運動のできる服装、体 育館用シューズ、屋外 用シューズ、水着、水 泳帽(ゴーグルの使用 可)、柔道衣または剣 道用具またはダンスの できる服装	
		英語	○ 英語によるコミュニケーション能力テ スト	辞書(電子も可) ※ ただし携帯電話・タブレ ット端末の辞書機能は不可	
中特		県立姫路工業高等学校 (姫路市伊伝居600-1)	○ ネイティブ受験者は、別途ホームページで通知		
			技術	○ ものづくりに関する基礎的技術 ○ パソコンに関する基礎的技術	実習服及び運動靴
			美術	○ 鉛筆デッサン ○ 基礎デザイン(色彩構成)	鉛筆デッサン用具一 式、平面デザイン用具 一式(ポスターカラー 等)、30cm直定規 ※ 上記用具には画板 (カルトン)を含む。

高等学校	工業	令和2年 8月16日(日) ～ 8月27日(木) のうちいずれか 1日	県立姫路工業高等学校 (姫路市伊伝居600-1)	○ 機械：機械に関する基礎的技術 ○ 電気・電子：電気・電子に関する基礎的技術 ○ 建築：建築に関する基礎的技術	機械：実習服・実習帽・安全靴 電気・電子：実習服・実習帽 建築：実習服
	書道			○ 毛筆・硬筆	書道道具一式 (2B鉛筆含む)、 30cmの直定規
	商業			○ コンピュータの活用技術	※ 共通携行品以外なし
	情報			○ コンピュータの活用技術	※ 共通携行品以外なし
	養護教諭			○ 養護教諭の職務に関する基礎的技術	動きやすい服装

- ※1 小学校・特別支援学校または中学校・特別支援学校区分の「特別支援学校」での第1次選考合格者も、出願時の区分教科(小学校または中学校の各教科)で実験実技試験を実施します。
- ※2 受付時間は第1次選考試験結果発表時にホームページへ掲載します。また、上表以外にさらに携行品が必要となった場合等も、第1次選考試験結果発表時にホームページへ掲載します。

携行品<共通>

受験票、筆記用具(鉛筆、消しゴムを含む)、上ばき(県立夢野台高等学校は不要)

実験実技試験の配点

	区 分	教 科	配 点
①	小学校・特別支援学校		100点
②	中学校・特別支援学校 高等学校	音楽、美術、体育	150点
③	中学校・特別支援学校 高等学校	②以外の教科	100点
④	養護教諭		100点

V 異常気象、交通事故等発生時の選考試験実施情報について

大雨、台風、地震等による交通途絶等が発生した場合は、選考試験実施情報をホームページへ掲載します。

VI 結果発表等について

1 選考試験の結果発表

区 分	発表日時(予定)	備 考
第1次選考試験	令和2年8月3日(月) 15時	・合格者の受験番号をホームページへ掲載 ・受験者全員に合否結果を郵送
第2次選考試験	令和2年9月下旬	

- ※1 第2次選考試験の受付日時、試験場等については、第1次選考試験の結果発表時にホームページへ掲載します。
- ※2 第2次選考試験結果の発表日時は、第2次選考試験の実施後にホームページへ掲載します。
- ※3 全校種・教科共通で第1次試験の筆記試験(一般・教科専門)について、教科ごとの合格基準を設定します。
- ※4 各試験の合格基準に達しない場合は、総合判定得点の如何にかかわらず不合格となります。
- ※5 最終合否は第1次選考試験の成績に関わらず、第2次選考試験の結果のみで決定します。
- ※6 第2次選考試験の結果は「合格」「条件付合格」「不合格」の区分で行います。
「条件付合格」：令和3年3月末までに合格者の辞退等により欠員が生じたときは、採用される場合があります。

<選考試験の成績開示等>

「第1次試験結果が不合格の者」および「第2次試験結果が条件付合格または不合格の者」に対して、「総合判定得点」と「総合判定順位」を試験結果通知に印字して通知します。

2 採用に際しての留意事項

- (1) 特別支援学校区分での合格者は、県立特別支援学校に採用となります。
- (2) 日本国籍を有しない者を採用する場合は、任用の期限を附さない常勤の講師となります。
- (3) 本県教諭（2(2)に示した常勤の講師を含む、以下同じ）として採用されてから1年間（養護教諭及び栄養教諭においては6月）は条件附採用となります。この間、教員として職務を良好に遂行したときに初めて正式採用となります。
- (4) 小学校・特別支援学校区分の受験者で、教諭として採用された者には、採用後、その年度の9月末までに配置校の所属長による泳力証明の提出を求めることとしています。なお、泳力については、「25m以上泳げること（泳法は問わない）」とします。
- (5) 教員として採用するにあたり、ふさわしくない非違行為があった場合は、合格を取り消すことがあります。

3 採用時の特例

大学院修士課程に在学または大学院修士課程に進学する第2次選考試験合格（条件付合格は除く）者の採用時の特例扱いについて

専修免許状を取得できる大学院修士課程に今年度進学した者、もしくは今年12月末日までに来年度進学することが決定している者であって、修士課程修了を希望する者に対して、最長2年間採用を猶予します（今年度大学院に進学した者は1年間、来年度進学する者は2年間）。また、教職大学院の教職修士課程についても、大学院修士課程と同様の取り扱いとします。

（取り扱いの範囲等）

- ① 令和3年度兵庫県公立学校教員採用候補者選考試験に合格後、大学院在学または進学を理由として採用の猶予を申し出ること。
- ② 猶予期間終了までに大学院修士課程を修了すること。
- ③ 猶予期間終了までに、令和3年度兵庫県公立学校教員採用候補者選考試験で合格した区分・教科または職の専修免許状を取得すること。

※ ②③の要件を満たさなかった場合は、教員採用候補者名簿から削除され、採用することができません。

Ⅶ 試験当日のお知らせ

- 第1次、第2次選考試験とも自家用車等での来場はお断りします。
（会場および会場付近の店舗等の駐車場に自家用車、自動二輪車、原動機付自転車を駐車することは認めません。また、近隣住民への迷惑防止およびトラブル防止のため、会場付近のコンビニ等での駐車や会場付近での乗降、折り返し等は固く禁じます。なお、身体的な事情により公共交通機関での来場が困難な方は、事前にご相談ください。）
- 兵庫県では適正冷房による省エネルギーの一層の推進のため「夏のエコスタイルキャンペーン」として軽装（上着・ネクタイを着用しない）勤務に取り組んでいますので、趣旨をご理解いただき、軽装での受験をお願いします。
- この募集案内に掲載された内容については、ホームページでも公開しています。

●教員採用関係のアドレス <http://www.hyogo-c.ed.jp/~kyoshokuin-bo/index.html>



－ 出願（電子申請）の手引き －

- ① 兵庫県教育委員会事務局教職員課ホームページから専用の電子申請画面へ移動し、入力、申込をしてください。（入力が正しくない場合にはエラー内容が表示されますので、画面の指示内容に従って入力のうえ、登録完了してください。）
- ② 必須入力項目の入力漏れがないように注意してください。
- ③ プルダウン(ドロップダウン)リストから選択する項目については、直接入力せずにリストから該当する内容を選択してください。
- ④ 電子申請画面とは別に、切手貼付用紙をホームページに掲載しますので、プリントアウトし、所定の位置に切手（63円切手1枚・84円切手1枚）を貼って郵送にて提出してください。

【電子申請画面でデータ入力する内容について】

共通：画面上に表示される各項目の注意事項とあわせて、以下の内容を確認のうえ入力してください。

- 1 「コード」欄は、出願する区分・教科コードをP21【区分・教科コード表】で確認して、プルダウンリストから選択してください。
- 2 「フリガナ」欄は全角で入力し、姓と名の間は全角1文字空けてください。「名前」欄は全角で入力し、姓と名の間は全角1文字空けてください。また、外国籍の者で通称名で受験される場合、「名前」の欄には「本名」と「通称名」（ただし通称名は（ ）書き）の両方を入力してください。「性別」欄は、プルダウンリストから選択してください。
- 3 「生年月日」欄は、「年」は西暦で半角数字を入力し、「月」「日」はプルダウンリストから選択してください。
- 4 「現住所郵便番号」欄は、半角数字と「-」（半角ハイフン）で入力してください。「現住所」欄は、寮名・アパート名・〇〇方など詳しく入力してください。
受験票の送付先が現住所と異なる場合は、必ず「受験票の送付先」欄も入力してください。受験票の送付先が現住所と同じ場合は、「受験票の送付先」欄の入力は不要です。
- 5 携帯電話を所有している場合は「携帯電話」欄にその番号を入力（「-」（半角ハイフン）入力必要）してください。「現住所電話番号」欄は、市外局番から入力（「-」（半角ハイフン）入力必要）してください。（固定電話がない場合は、携帯電話等連絡がつく番号を入力してください。）
- 6 学歴について、「卒業した高等学校の都道府県」欄以降に、高等学校以降の学校名等を入力してください。
また、「最終学歴の区分欄」は、下表の該当するコードをプルダウンリストから選択してください。「最終学歴の学校名コード」欄は、P22～25で確認して、半角数字でコードを入力してください。なお、「その他の県下の大学コード」を入力した場合は、下欄に具体的な学校名を入力してください。

高等学校・高等専門学校：

→ 「都道府県」欄をプルダウンリストから選択し、「学校名」欄は直接入力

短期大学・大学・大学院・大学専攻科・短大専攻科：

→ 「都道府県」欄をプルダウンリストから選択後、「学校名コード」欄にコードを入力

（学校名がリストにない場合は、該当する「その他の県下の大学」コードを入力し、「学校名」は直接入力してください。）

【最終学歴区分コード表】

学 校 区 分		コード
国 立 大 (国立大学法人)	教育学部・学校教育学部	1
	上記以外の学部	2
公 立 大	一般大学（国立・私立大学以外の大学）・学部	3
私 立 大	一般大学（国公立大学以外の大学）・学部	4
国公立・大学院・専攻科（大学の短期大学部、短期大学の専攻科を除く）		5
国公立・大学の短期大学部・短期大学（左の専攻科も含む）		6
上記以外のもの		7

- 7 「教員免許状取得のために単位を補充した大学名」欄は、大学などの卒業後、免許状取得のために、通信教育または、聴講で修学した大学名などを直接入力してください。
- 8 「現在の身分」欄に下表の該当するコードをプルダウンリストから選択してください。

現在の身分	コード	現在の身分	コード
大学生	1	正規の教員	5
大学院生	2	教員以外の公務員（正規）	6
兵庫県内の臨時講師等（非正規）	3	民間企業（正規）	7
兵庫県以外の臨時講師等（非正規）	4	その他	8

- 9 (1) P5 4(2)に該当する者で、現職一般・専門免除を希望する者は「現職一専免除」欄に「○」をプルダウンリストから選択してください。
- (2) P4 4(1)①に該当する者で、第1次選考試験免除を希望する者は「R2結果1次試験免除」欄に「○」をプルダウンリストから選択してください。
- (3) P5 4(1)②に該当する者で、第1次選考試験免除を希望する者は「臨+31一免 臨+30一免」欄に右表の該当するコードをプルダウンリストから選択してください。
- | 一免の区分 | コード |
|--------|-----|
| 臨+30一免 | 1 |
| 臨+31一免 | 2 |
- (4) P5 4(1)③に該当する者で、第1次選考試験免除を希望する者は「高校看護一免」欄に「○」をプルダウンリストから選択してください。
- (5) P5 4(1)④に該当する者で、第1次選考試験免除を希望する者は「本県過去正規教員一免」欄に「○」をプルダウンリストから選択してください。
- (6) 障害者の特別選考を希望する者は「障害者特別選考」欄に「○」をプルダウンリストから選択してください。
- (7) 「音楽」「美術」「技術」「家庭」のいずれかを含む複数中学校免許所有者への特別選考を希望する者は「複数中学校免許」欄に「○」をプルダウンリストから選択してください。ただし、希望した場合は「特支希望」をすることはできません。
- (8) 特別免許状授与を前提とした特別選考（高等学校「ネイティブ（英語）」・高等学校「看護」・高等学校「福祉」）を希望する者は「特別免許状」欄に「○」をプルダウンリストから選択してください。
- (9) 受験区分が「小学校・特別支援学校」または「中学校・特別支援学校」の者は全員、特別支援学校の希望（P8 9参照）について、「特支希望」欄に下表の希望パターンに応じて該当するコードをプルダウンリストから選択してください。
 なお、特別支援学校の免許を所有していない場合、「小学校・特別支援学校」の者は3、「中学校・特別支援学校」の者は7しか選択できません。
 また、「中学校・特別支援学校」の者で、国語・数学・英語・音楽・保健体育・家庭において、第2希望（P8 8参照）を希望する場合は、7しか選択できません。

受験区分	希望パターン		コード
小学校・特別支援学校	第1希望＝小学校	第2希望＝特別支援学校	1
	第1希望＝特別支援学校	第2希望＝小学校	2
	第1希望＝小学校	第2希望＝なし	3
	第1希望＝特別支援学校	第2希望＝なし	4
中学校・特別支援学校	第1希望＝中学校	第2希望＝特別支援学校	5
	第1希望＝特別支援学校	第2希望＝中学校	6
	第1希望＝中学校	第2希望＝なし	7
	第1希望＝特別支援学校	第2希望＝なし	8

- (10) 国語・数学・英語・音楽・保健体育・家庭・養護教諭において、第2希望（P8 8参照）を希望する者は「第2希望」欄に「○」をプルダウンリストから選択してください。ただし、「音楽」「美術」「技術」「家庭」のいずれかを含む複数中学校免許所有者への特別選考を希望する者は、第2希望を選択できません。
- 10 「教員免許状」欄は、取得及び取得見込みの免許状を6つまで、校種・教科、取得（見込）年月の年号と月をプルダウンにより選択し、取得（見込）年と教科を直接入力してください。なお、一番上（免許状1）には、出願する教科に相当するものを入力してください。
- 11 (1) 「部活動歴」欄は、高等学校及び大学等で学校区分ごとに主なもの一つずつ、部名（高等学校における必修クラブは除外）を入力してください。同好会の場合は○○同好会と入力してください。区切る場合は「/」（半角スラッシュ）で区切ってください。
- (2) 「学外活動歴」の欄には、ボランティア活動、地域社会での活動などにおける、活動内容を入力してください。区切る場合は「/」（半角スラッシュ）で区切ってください。
- 12 (1) 「加点・配慮措置該当の有無」欄は、該当する場合のみ「有」をプルダウンリストから選択してください。

- (2) 「加点措置に該当する部活動歴」欄は、在学中および卒業後の体育・文化活動などにおける顕著な活動実績について、「大会名」「表彰・記録」を「/」（半角スラッシュ）で区切って入力してください。※加点対象でないものについては入力しないでください。
- (3) 「資格」欄は、英検1級など、プルダウンリストから選択してください。
 その際、取得した年も必ず入力（例：S59、H24）してください。
 なお、「中学校・特別支援学校区分」または「高等学校区分」の英語を受験する者は全員、以下のいずれかの資格を有することが出願資格であるため、必ず一番初めの「資格1」欄で「資格」をプルダウンから選択し、「取得年」を入力してください。
 【英語受験者の出願資格】
 ① 英語検定2級以上 ② TOEIC(L&R)550点以上 ③ TOEFL(iBT)60点以上 ④ 国連英検B級以上
 また、英語資格所有者の加点（P7 6(2)参照）を希望する場合も、必ず「資格」欄で「資格」「取得年」の選択および入力をしてください。（小学校・特別支援学校区分受験者における加点も含む）
- (4) P7 6(4)に該当する者は、「青年海外協力隊(JICA)での国際貢献活動において2年以上の経験を有する者」欄に、「○」をプルダウンリストから選択してください。さらに、P7 6(5)に該当する者は、「本県内の国公立学校（神戸市立学校を除く）において臨時講師経験を2年以上有する者」欄に、「○」をプルダウンリストから選択してください。
- (5) 「得意分野・重点履習分野」の欄は、得意分野や大学等で重点的に履習した分野について入力してください。
- (6) 「特技」「指導できる部活動」の欄は、それぞれ簡潔に入力してください。区切る場合は「/」（半角スラッシュ）で区切ってください。
- (7) 「特筆したい表彰・経歴」の欄は、加点・配慮措置欄に入力した内容以外で、アピールしたいことを簡潔に入力してください。
- (8) 「中学校・特別支援学校区分」または「高等学校区分」の保健体育受験者は、「保健体育受験者の専門種目」欄に専門種目を入力してください。
- 13 出願時点で大学院修士課程の在学または進学による採用時の特例（P14 VI 3参照）を希望するものは「大学院特例」の欄に「○」をプルダウンリストから選択してください。
- 14 「研究テーマ」欄は、卒業論文のテーマまたは大学在学中に長期間研究したテーマを必ず入力してください。
- 15 「職歴」欄は、出願時現在を含め、新しいものから順に6つまで簡潔に入力してください。なお、任免事項等、職名、勤務時間を「/」（半角スラッシュ）で区切って入力してください。
- 16 賞罰がある場合には、必ず「賞罰」欄にその内容を入力してください。
- 17 「現在の身分」欄に「5」（正規の教員）を入力した者、および過去正規教員に該当する者は、「初任者研修受講経験の有無」欄をプルダウンリストから選択し、「有」の場合は、教科区分および受講時期を「教科区分」「時期」を「/」（半角スラッシュ）で区切って入力してください。
- 18 「小学校・特別支援学校区分」受験者は全員、「泳力」欄に該当するもの（泳法は問わない）をラジオボタンで選択してください。
- 19 「小学校・特別支援学校区分」受験者のうち、「採用地域希望優先制度」（P8 10参照）を希望する者は「採用地域希望」欄に該当する地域（但馬・丹波・淡路）をラジオボタンで選択してください。
- 20 「あなたの考える「生きる力」を育む教育とは」欄は、面接試験の際の参考資料としますので、必ず入力してください。
- 21 不合格の場合に臨時的任用を希望する者は、「臨時的任用の希望」欄に下表の該当するコードをプルダウンリストから選択してください。希望しない場合は入力不要です。
- | 区 分 | コード |
|---|-----|
| 不合格の場合に臨時的任用を希望する者で、出願時点で公立学校の臨時講師等(非正規)として勤務している者 | 1 |
| 不合格の場合に臨時的任用を希望する者で、出願時点で公立学校の臨時講師等(非正規)として勤務していない者 | 2 |
- 22 宣誓部分「入力事項が事実であるとともに、地方公務員法第16条および学校教育法第9条の各号のいずれにも該当しないことを確認しました。」欄は内容を十分に理解のうえ、「確認しました」をプルダウンリストから選択してください。
- 23 添付する写真は、3ヶ月以内に撮影した写真画像を、480×640（縦長、ファイルサイズ50KBまで）にして、「参照」ボタンから保存されている画像を選択してください。画像ファイル形式は「jpg」とし、画像のファイル名は「生年月日（半角数字8桁）+名前」にしてください。（例：19760714兵庫桜子.jpg）

【申し込み内容の入力】

操作方法のご説明

下記の入力フォームに必要事項を入力した後、「申し込み内容確認」ボタンを押してください。
(必須) マークがある項目は、必ず入力してください。

また、機種依存文字は使用しないでください。機種依存文字が入力されている場合はエラーになります。

途中まで入力した内容を一時保存したい場合、「申し込み一時保存確認」ボタンを押してください。
 ただし、選択した添付ファイルに関しては一時保存されません。

・日付項目(西暦入力)については、年は西暦4桁を半角数字で入力してください。月、または日は、ドロップダウンリストより選択してください。
 ・日付項目(和暦入力)については、元号を選択後、年は半角数字で入力してください。月、または日は、ドロップダウンリストより選択してください。

コード <small>(必須)</small>	231 <input type="checkbox"/>
フリガナ <small>(必須)</small>	全角カタカナで入力してください。 姓と名の間は、全角スペースを空けて入力してください。 ヒョウゴ サクラコ
名前 <small>(必須)</small>	姓と名の間は、全角スペースを空けて入力してください。 兵庫 桜子
性別 <small>(必須)</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/>
生年月日 <small>(必須)</small>	西暦で入力してください。 1961年4月2日以降の日付を指定してください。 1976 年 7 <input type="checkbox"/> 月 14 <input type="checkbox"/> 日
現住所郵便番号 <small>(必須)</small>	〇〇〇-〇〇〇〇のように、「-」でつなげて入力してください。 650-8567
現住所都道府県	<input type="checkbox"/> 兵庫県 <input type="checkbox"/>
現住所 <small>(必須)</small>	神戸市中央区下山手通5-10-1
受験票送付先の郵便番号	現住所と受験票の送付先が異なる場合は、入力してください。 〇〇〇-〇〇〇〇のように、「-」でつなげて入力してください。
受験票送付先の都道府県	<input type="checkbox"/>
受験票送付先の住所	現住所と受験票の送付先が異なる場合は、入力してください。
現住所電話番号 <small>(必須)</small>	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇のように、「-」でつなげて入力してください。 123-456-7890
携帯電話 <small>(必須)</small>	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇のように、「-」でつなげて入力してください。 090-0000-0000
その他の電話番号	
卒業した高等学校の都道府県 <small>(必須)</small>	<input type="checkbox"/> 兵庫県 <input type="checkbox"/>
卒業した高等学校名 <small>(必須)</small>	<input type="checkbox"/> 高等学校
卒業した高等学校の入学年月 <small>(必須)</small>	入学の年月を入力してください。 平成 <input type="checkbox"/> 年 4 <input type="checkbox"/> 月
卒業した高等学校の卒業年月 <small>(必須)</small>	卒業の年月を入力してください。 平成 <input type="checkbox"/> 年 3 <input type="checkbox"/> 月
高等学校卒業後～最終学歴に至るまでに在籍した大学などの都道府県	<input type="checkbox"/> 大阪府 <input type="checkbox"/>
高等学校卒業後～最終学歴に至るまでに在籍した大学などの学校名	〇〇大学
高等学校卒業後～最終学歴に至るまでに在籍した大学などの入学年月日	入学の年月を入力してください。 平成 <input type="checkbox"/> 年 4 <input type="checkbox"/> 月
高等学校卒業後～最終学歴に至るまでに在籍した大学などの卒業年月	卒業の年月を入力してください。 平成 <input type="checkbox"/> 年 3 <input type="checkbox"/> 月
最終学歴の学校の都道府県 <small>(必須)</small>	<input type="checkbox"/> 兵庫県 <input type="checkbox"/>
最終学歴の区分 <small>(必須)</small>	5 <input type="checkbox"/>
最終学歴の学校名コード <small>(必須)</small>	2898
上記において「その他」のコードを入力した場合の具体的な学校名	〇〇大学院
最終学歴の学部 <small>(必須)</small>	教育学研究科
最終学歴の課程・学科 <small>(必須)</small>	教育学研究科
最終学歴の専攻	
最終学歴の入学年月 <small>(必須)</small>	入学の年月を入力してください。 平成 <input type="checkbox"/> 年 4 <input type="checkbox"/> 月
最終学歴の卒業年月 <small>(必須)</small>	卒業の年月を入力してください。 平成 <input type="checkbox"/> 年 3 <input type="checkbox"/> 月
最終学歴の卒業・修了区分 <small>(必須)</small>	修了 <input type="checkbox"/>
教員免許状取得のために単位を補充した大学名	
現在の身分 <small>(必須)</small>	5 <input type="checkbox"/>
現職一専免除	<input type="checkbox"/>
R2結果一次試験免除	<input type="checkbox"/>
臨+31一免 臨+30一免	<input type="checkbox"/>

高校看護一免 (入力不要)	<input type="checkbox"/>
本県過去正規教員一免	<input type="checkbox"/>
障害者特別選考	<input type="checkbox"/>
複数中学校免許特別選考	<input type="checkbox"/>
特別免許状の授与を前提とした特別選考 (入力不要)	<input type="checkbox"/>
特文希望	<input type="checkbox"/>
第2希望	<input type="checkbox"/>
保有する(見込みを含む)教員免許状1 (必須)	中学 <input type="checkbox"/>
免許状1の教科	英語 <input type="checkbox"/>
免許状1の取得年月	平成 <input type="checkbox"/> 年 <input type="checkbox"/> 月
保有する(見込みを含む)教員免許状2	高校 <input type="checkbox"/>
免許状2の教科	英語 <input type="checkbox"/>
免許状2の取得年月	平成 <input type="checkbox"/> 年 <input type="checkbox"/> 月
保有する(見込みを含む)教員免許状3	中学 <input type="checkbox"/>
免許状3の教科	音楽 <input type="checkbox"/>
免許状3の取得年月	平成 <input type="checkbox"/> 年 <input type="checkbox"/> 月
保有する(見込みを含む)教員免許状4	<input type="checkbox"/>
免許状4の教科	<input type="checkbox"/>
免許状4の取得年月	<input type="checkbox"/> 年 <input type="checkbox"/> 月
保有する(見込みを含む)教員免許状5	<input type="checkbox"/>
免許状5の教科	<input type="checkbox"/>
免許状5の取得年月	<input type="checkbox"/> 年 <input type="checkbox"/> 月
保有する(見込みを含む)教員免許状6	<input type="checkbox"/>
免許状6の教科	<input type="checkbox"/>
免許状6の取得年月	<input type="checkbox"/> 年 <input type="checkbox"/> 月
部活動歴	高等学校及び大学等で所属した部活動名を「/」で区切って入力してください。 例:吹奏楽部/ラグロス部 茶道部/弓道部
学外活動歴	活動内容を「/」で区切って入力してください。 例:青年海外協力隊/災害ボランティア 青年海外協力隊/災害ボランティアコーディネーター
加点・配慮措置該当の有無 (必須)	※英語受験者については、加点措置の該当がなくても「有」を選んでください。そのうえで「加点措置に該当する資格1」に出願資格を入力してください。 <input type="checkbox"/>
加点措置に該当する部活動歴(一芸、一能に秀でた者)	体育分野および芸術分野において加点措置に該当する経歴があれば、大会名、表彰・記録を「/」で区切って入力してください。全国高等学校吹奏楽演奏会/金賞 弓道世界選手権大会/優勝
加点措置に該当する資格1 (英語受験者については出願資格)	【英語出願資格】英検2級以上 <input type="checkbox"/>
資格1の取得年	例)「H8」や「H14」のように元号アルファベット(半角) + 数字で入力してください。 H9
加点措置に該当する資格2	【英語受験者】TOEIC1305点以上 <input type="checkbox"/>
資格2の取得年	例)「H8」や「H14」のように元号アルファベット(半角) + 数字で入力してください。 H30
加点措置に該当する資格3	<input type="checkbox"/>
資格3の取得年	例)「H8」や「H14」のように元号アルファベット(半角) + 数字で入力してください。 H
青年海外協力隊(JICA)での国際貢献活動において2年以上の経験の有無	<input type="checkbox"/>
本県内の公立学校(神戸市立を除く)において臨時講師経験を2年以上有する者	<input type="checkbox"/>
配慮措置に該当する資格または経験など	【中特受験者】中学校において複数教科の免許状を有する <input type="checkbox"/>
得意分野・重点履修分野	言語学 <input type="checkbox"/>
特技	<input type="checkbox"/>
特筆したい表彰・経歴	〇〇大会で銅メダル受賞
指導できる部活動 (必須)	複数ある場合は「/」で区切って入力してください。 例:吹奏楽/ラグロス/水泳 弓道/剣道
保健体育受験者の専門種目 (入力不要)	<input type="checkbox"/>
大学院特例	<input type="checkbox"/>
研究テーマ (必須)	コミュニケーション能力を養成する英語教育について
身体等に事情がある方で、受験時に配慮をして欲しいこと	<input type="checkbox"/>

※ 提出後の記載内容の変更は認めませんので、慎重に入力してください。

また、虚偽の記載があった場合、または記載すべき賞罰・休職等の記載がなかった場合は、合格またはこの試験で得た令和3年度以降に実施する本県教員採用候補者選考試験における第1次選考免除（免除を実施することとした場合に限る）の資格が無効になる場合があります。

【区分・教科コード表】

区分	教科・科目(分野)	コード	区分	教科・科目(分野)	コード
小学校・特別支援学校（男）		111	高等学校	音楽	354
小学校・特別支援学校（女）		112		書道	356
中学校 ・ 特別支援 学校	国語	220		保健体育	357
	社会	221		家庭	360
	数学	222		看護	361
	理科	223		福祉	362
	音楽	224		情報	363
	美術	225		農業（農業・園芸）	366
	保健体育	227		工業（機械）	370
	技術	229		工業（電気・電子）	371
	家庭	230		工業（建築）	372
	英語	231		商業	380
高等学校	国語	340		英語	381
	地理歴史・公民	342		水産	383
	数学	347		養護教諭	490
	理科（物理）	350		特別支援学校	491
	理科（化学）	351		栄養教諭	492
	理科（生物）	352			

※ 電子申請申込、書類提出前に以下の内容を再チェックしてください。
（不備の内容によっては、再提出を求められることがあります。）

【電子申請】

- 出願する区分、教科に誤りはないか。
- 受験票の送付先欄は正しいか。

【書類提出】

- 履歴証明書が必要な場合（P3 Ⅲ 2(3)の表参照）、提出しているか。
- 切手貼付用紙に63円切手1枚と84円切手1枚が貼り付けてあるか。

【最終学歴学校名コード表】

大学学校名	コード	大学学校名	コード
旭川大学	0101	その他の県下の大学（千葉）	1298
小樽商科大学	0102	その他の県下の短期大学等（千葉）	1299
帯広畜産大学	0103	青山学院大学	1301
北見工業大学	0104	お茶の水女子大学	1302
北海道大学	0105	学習院大学	1303
北海道教育大学（養護教諭特別別科を含む）	0106	共立女子大学	1304
室蘭工業大学	0107	国立音楽大学	1305
酪農学園大学	0108	慶応義塾大学	1306
その他の道下の大学（北海道）	0198	國學院大学	1307
その他の道下の短期大学等（北海道）	0199	国際基督教大学	1308
弘前大学	0201	国土館大学	1309
その他の県下の大学（青森）	0298	駒澤大学	1310
その他の県下の短期大学等（青森）	0299	実践女子大学	1311
岩手大学	0301	芝浦工業大学	1312
その他の県下の大学（岩手）	0398	順天堂大学	1313
その他の県下の短期大学等（岩手）	0399	上智大学	1314
東北大学	0401	女子美術大学	1315
東北福祉大学	0402	専修大学	1316
宮城教育大学	0403	創価大学	1317
その他の県下の大学（宮城）	0498	大東文化大学	1318
その他の県下の短期大学等（宮城）	0499	玉川大学	1319
秋田大学	0501	多摩美術大学	1320
その他の県下の大学（秋田）	0598	中央大学	1321
その他の県下の短期大学等（秋田）	0599	津田塾大学	1322
山形大学（養護教諭特別別科を含む）	0601	帝京大学	1323
その他の県下の大学（山形）	0698	電気通信大学	1324
その他の県下の短期大学等（山形）	0699	東海大学	1325
福島大学	0701	東京大学	1326
その他の県下の大学（福島）	0798	東京家政大学	1327
その他の県下の短期大学等（福島）	0799	東京外国語大学	1328
茨城大学	0801	東京学芸大学	1329
筑波大学	0802	東京芸術大学	1331
その他の県下の大学（茨城）	0898	東京工業大学	1332
その他の県下の短期大学等（茨城）	0899	東京海洋大学	1333
宇都宮大学	0901	東京女子大学	1334
その他の県下の大学（栃木）	0998	東京女子体育大学	1335
その他の県下の短期大学等（栃木）	0999	東京水産大学	1336
群馬大学	1001	東京造形大学	1337
高崎経済大学	1002	東京電気大学	1338
その他の県下の大学（群馬）	1098	東京農業大学	1339
その他の県下の短期大学等（群馬）	1099	東京農工大学	1340
埼玉大学	1101	東京理科大学	1341
城西大学	1102	桐朋学園大学	1342
獨協大学	1103	東洋大学	1343
日本工業大学	1104	二松学舎大学	1344
文教大学	1105	日本大学	1345
その他の県下の大学（埼玉）	1198	日本女子大学	1346
その他の県下の短期大学等（埼玉）	1199	日本女子体育大学	1347
淑徳大学	1201	日本体育大学	1348
千葉大学	1202	一橋大学	1349
千葉工業大学	1203	法政大学	1350

大学学校名	コード	大学学校名	コード
武蔵野音楽大学	1351	愛知県立芸術大学	2305
武蔵野美術大学	1352	愛知工業大学	2306
明治大学	1354	愛知淑徳大学	2307
明治学院大学	1355	椙山女学園大学	2308
明星大学	1356	中京大学	2309
立教大学	1357	中京女子大学	2310
立正大学	1358	名古屋大学	2311
和光大学	1359	名古屋音楽大学	2312
早稲田大学	1360	名古屋芸術大学	2313
その他の都下の大学（東京）	1398	名古屋工業大学	2314
その他の都下の短期大学等（東京）	1399	名古屋市立大学	2315
神奈川大学	1401	名古屋市立女子短期大学	2316
関東学院大学	1402	名古屋市立保育短期大学	2317
湘南工科大学	1403	名古屋女子大学	2318
洗足学園大学	1404	南山大学	2319
横浜国立大学	1405	日本福祉大学	2320
横浜市立大学	1406	名城大学	2321
その他の県下の大学（神奈川）	1498	その他の県下の大学（愛知）	2398
その他の県下の短期大学等（神奈川）	1499	その他の県下の短期大学等（愛知）	2399
新潟大学（養護教諭特別別科を含む）	1501	皇學館大学	2401
上越教育大学	1502	三重大学	2402
その他の県下の大学（新潟）	1598	三重短期大学	2403
その他の県下の短期大学等（新潟）	1599	その他の県下の大学（三重）	2498
富山大学	1601	その他の県下の短期大学等（三重）	2499
その他の県下の大学（富山）	1698	滋賀大学	2501
その他の県下の短期大学等（富山）	1699	びわこ成蹊スポーツ大学	2502
金沢大学（養護教諭特別別科を含む）	1701	その他の県下の大学（滋賀）	2598
金沢美術工芸大学	1702	その他の県下の短期大学等（滋賀）	2599
その他の県下の大学（石川）	1798	大谷大学	2601
その他の県下の短期大学等（石川）	1799	京都大学	2602
福井大学	1801	京都外国語大学	2603
その他の県下の大学（福井）	1898	京都教育大学	2604
その他の県下の短期大学等（福井）	1899	京都工芸繊維大学	2605
都留文科大学	1901	京都産業大学	2606
山梨大学	1902	京都市立看護短期大学	2607
その他の県下の大学（山梨）	1998	京都市立芸術大学	2608
その他の県下の短期大学等（山梨）	1999	京都女子大学	2609
信州大学	2001	京都精華大学	2611
その他の県下の大学（長野）	2098	京都府立大学	2612
その他の県下の短期大学等（長野）	2099	光華女子大学（京都光華女子大学）	2613
岐阜大学	2101	嵯峨美術短期大学（京都嵯峨美術大学短期大学部）	2614
岐阜聖徳学園大学	2102	成安造形短期大学	2615
その他の県下の大学（岐阜）	2198	京都橘女子大学（京都橘大学）	2616
その他の県下の短期大学等（岐阜）	2199	同志社大学	2617
静岡大学	2201	同志社女子大学	2618
静岡県立大学	2202	京都ノートルダム女子大学	2619
その他の県下の大学（静岡）	2298	花園大学	2620
その他の県下の短期大学等（静岡）	2299	佛教大学	2621
愛知大学	2301	立命館大学	2622
愛知学院大学	2302	龍谷大学	2623
愛知教育大学	2303	光華女子短期大学	2624
愛知県立大学	2304	京都女子大学短期大学部	2625

大学学校名	コード	大学学校名	コード
その他の府下の大学（京都）	2698	甲子園大学	2810
その他の府下の短期大学等（京都）	2699	甲子園短期大学	2811
大阪大学	2701	甲南大学	2812
大阪音楽大学	2702	甲南女子大学	2813
大阪音楽短期大学	2703	神戸大学（養護教諭特別別科を含む）	2814
大阪外国語大学	2704	神戸海星女子学院大学	2815
大阪学院大学	2705	神戸海星女子学院短期大学	2816
大阪教育大学	2706	神戸学院大学	2817
大阪経済大学	2707	神戸学院女子短期大学	2818
大阪芸術大学	2708	神戸市外国語大学	2819
大阪工業大学	2709	神戸商科大学	2820
大阪産業大学	2710	神戸商船大学	2821
大阪樟蔭女子大学	2711	神戸女学院大学	2822
大阪商業大学	2712	神戸女子大学	2823
大阪市立大学	2713	神戸女子短期大学	2824
大阪女子大学	2714	神戸山手大学	2825
大阪女子短期大学	2715	神戸山手短期大学	2826
大阪成蹊女子短期大学（大阪成蹊短期大学）	2716	夙川学院短期大学	2827
大阪体育大学	2717	神戸松蔭女子学院大学	2828
大阪千代田短期大学	2718	神戸松蔭女子学院短期大学	2829
大阪電気通信大学	2719	頌栄短期大学	2830
大阪府立大学	2720	神戸親和女子大学	2831
大阪大谷大学	2722	聖和大学	2832
大阪大谷大学短期大学部	2723	園田学園女子大学	2833
関西大学	2724	園田学園女子短期大学部	2834
関西外国語大学	2725	姫路日ノ本短期大学	2835
近畿大学	2726	姫路工業大学	2836
金蘭短期大学（千里金蘭大学短期大学部）	2727	姫路短期大学	2838
四天王寺国際仏教大学	2728	兵庫大学短期大学部	2839
相愛大学	2730	湊川女子短期大学（湊川短期大学）	2840
大阪国際女子大学（大阪国際大学）	2731	武庫川女子大学	2841
帝塚山学院大学	2732	武庫川女子大学短期大学部	2842
帝塚山学院短期大学	2733	神戸国際大学	2843
梅花女子大学	2734	兵庫県立総合衛生学院	2844
梅花短期大学	2735	兵庫教育大学	2845
東大阪短期大学	2736	姫路獨協大学	2846
桃山学院大学	2737	兵庫大学	2847
追手門学院大学	2738	兵庫県立看護大学	2848
摂南大学	2739	兵庫県立大学	2849
関西女子短期大学	2740	流通科学大学	2850
関西福祉科学大学	2741	近大姫路大学	2851
その他の府下の大学（大阪）	2798	その他の県下の大学（兵庫）	2898
その他の府下の短期大学等（大阪）	2799	その他の県下の短期大学等（兵庫）	2899
神戸文化短期大学	2801	帝塚山大学	2901
芦屋大学	2802	天理大学	2902
芦屋女子短期大学（芦屋学園短期大学）	2803	奈良大学	2903
聖トマス大学（英知大学）	2804	奈良芸術短期大学	2904
大手前大学	2805	奈良教育大学	2905
関西国際大学	2806	奈良女子大学	2906
関西学院大学	2807	畿央大学	2907
近畿大学豊岡短期大学	2808	その他の県下の大学（奈良）	2998
賢明女子学院短期大学	2809	その他の県下の短期大学等（奈良）	2999

大学学校名	コード	大学学校名	コード
高野山大学	3001	その他の県下の大学（愛媛）	3898
和歌山大学	3002	その他の県下の短期大学等（愛媛）	3899
その他の県下の大学（和歌山）	3098	高知大学	3901
その他の県下の短期大学等（和歌山）	3099	高知女子大学	3902
鳥取大学	3101	その他の県下の大学（高知）	3998
その他の県下の大学（鳥取）	3198	その他の県下の短期大学等（高知）	3999
その他の県下の短期大学等（鳥取）	3199	北九州大学（北九州市立大学）	4001
島根大学	3201	九州大学	4002
その他の県下の大学（島根）	3298	九州芸術工科大学	4003
その他の県下の短期大学等（島根）	3299	九州工業大学	4004
岡山大学（養護教諭特別別科を含む）	3301	九州産業大学	4005
岡山県立大学	3302	西南学院大学	4006
吉備国際大学	3303	福岡大学	4007
岡山理科大学	3304	福岡教育大学	4008
くらしき作陽大学	3305	その他の県下の大学（福岡）	4098
作陽短期大学	3306	その他の県下の短期大学等（福岡）	4099
順正短期大学	3307	佐賀大学	4101
ノートルダム清心女子大学	3308	その他の県下の大学（佐賀）	4198
美作女子大学（美作大学）	3309	その他の県下の短期大学等（佐賀）	4199
IPU環太平洋大学	3310	長崎大学	4201
その他の県下の大学（岡山）	3398	長崎県立大学	4202
その他の県下の短期大学等（岡山）	3399	その他の県下の大学（長崎）	4298
エリザベト音楽大学	3401	その他の県下の短期大学等（長崎）	4299
広島大学	3402	熊本大学（養護教諭特別別科を含む）	4301
広島工業大学	3403	熊本商科大学（熊本学園大学）	4302
広島修道大学	3404	熊本県立大学	4303
広島女子大学	3405	その他の県下の大学（熊本）	4398
安田女子大学	3406	その他の県下の短期大学等（熊本）	4399
広島女学院大学	3407	大分大学	4401
比治山大学	3408	日本文理大学	4402
比治山大学短期大学部	3409	別府大学	4403
その他の県下の大学（広島）	3498	その他の県下の大学（大分）	4498
その他の県下の短期大学等（広島）	3499	その他の県下の短期大学等（大分）	4499
下関市立大学	3501	宮崎大学	4501
徳山大学	3502	南九州大学	4502
山口大学	3503	その他の県下の大学（宮崎）	4598
山口県立大学	3504	その他の県下の短期大学等（宮崎）	4599
その他の県下の大学（山口）	3598	鹿児島大学	4601
その他の県下の短期大学等（山口）	3599	第一工業大学	4602
徳島大学（養護教諭特別別科を含む）	3601	鹿屋体育大学	4603
徳島文理大学	3602	その他の県下の大学（鹿児島）	4698
鳴門教育大学	3603	その他の県下の短期大学等（鹿児島）	4699
四国大学	3604	琉球大学	4701
その他の県下の大学（徳島）	3698	その他の県下の大学（沖縄）	4798
その他の県下の短期大学等（徳島）	3699	その他の県下の短期大学等（沖縄）	4799
香川大学	3701	外国の学校	9901
四国学院大学	3702	資格認定試験	9902
高松短期大学	3703		
その他の県下の大学（香川）	3798		
その他の県下の短期大学等（香川）	3799		
愛媛大学	3801		
松山大学	3802		

参考事項 (試験会場を間違えないよう、よく確認してください。)

(1) 提出書類受付場所案内図

兵庫県教育委員会教職員課(兵庫県庁3号館11階)
 〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

- JR神戸線、阪神「元町駅」から北へ徒歩10分
- 神戸市営地下鉄「県庁前駅」下車すぐ

(2) 試験場案内図

兵庫県立大学神戸商科キャンパス
 (旧学園都市キャンパス)

- 神戸市営地下鉄「学園都市駅」から徒歩10分
 (受付場所までは、さらに約5分)

神戸親和女子大学鈴蘭台キャンパス

- 神戸電鉄「鈴蘭台駅」より徒歩約10分
- 阪急バス「神戸親和女子大学前」下車すぐ

県立御影高等学校

- 阪神御影駅から徒歩7分
- 阪神石屋川駅から徒歩5分
- 阪急御影駅から徒歩10分
- JR住吉駅から徒歩15分

県立加古川東高等学校

- JR「加古川駅」下車、徒歩約10分

県立播磨南高等学校

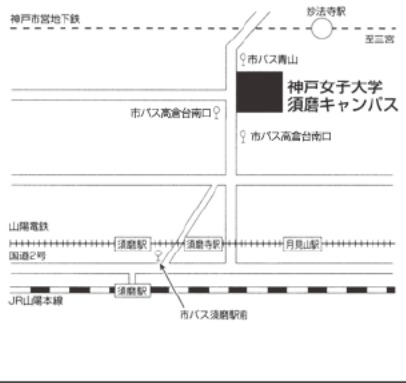
- 山陽電鉄「西二見駅」より徒歩約10分

関西学院大学西宮聖和キャンパス

- 阪急電鉄今津線「門戸厄神駅」より徒歩約13分

神戸女子大学須磨キャンパス

- JR、山陽電鉄「須磨駅」から市バス71・72・75系統または神戸市営地下鉄「妙法寺駅」から市バス75系統「高倉台南口」下車、徒歩3分



県立伊川谷北高等学校

- 神戸市営地下鉄「学園都市駅」より徒歩約10分



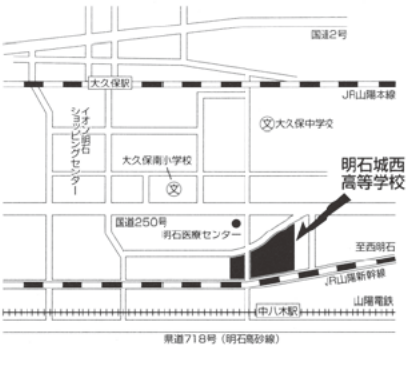
県立尼崎稲園高等学校

- JR宝塚線「猪名寺」駅西すぐ
- 阪急伊丹線「稲野」駅東へ徒歩6分
- 阪急バス「猪名寺西口」「つかしん前」すぐ



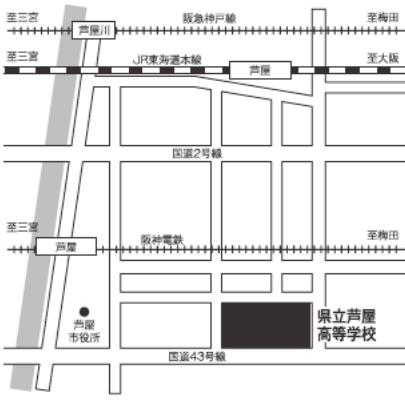
県立明石城西高等学校

- 山陽電鉄「中八木駅」下車、北へ約300m
- JR「大久保駅」下車、南へ約1.4km
- 新幹線「西明石駅」下車、西へ約3km



県立芦屋高等学校

- 阪神芦屋駅より東へ徒歩8分
- JR芦屋駅より南へ徒歩10分
- 阪急芦屋川駅より南東へ徒歩18分



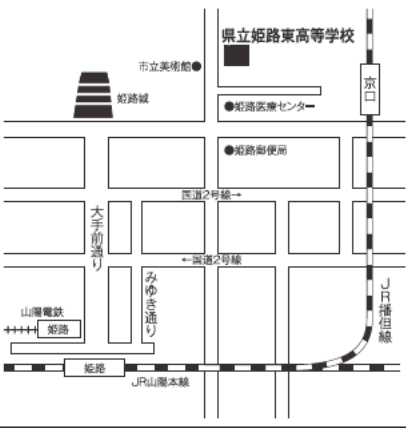
県立加古川西高等学校

- JR「加古川駅」より徒歩約15分



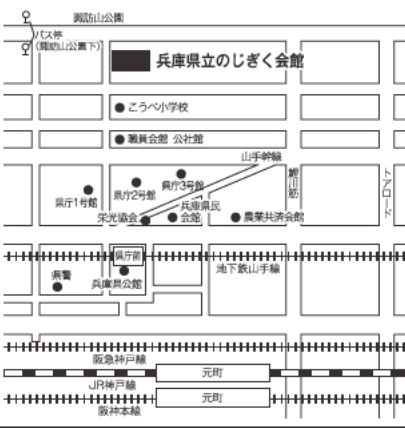
県立姫路東高等学校

- JR姫路駅から徒歩20分
- 神姫バス姫路駅前から約8分「姫山公園・博物館前」下車
- 最寄駅(JR京口駅)から徒歩10分



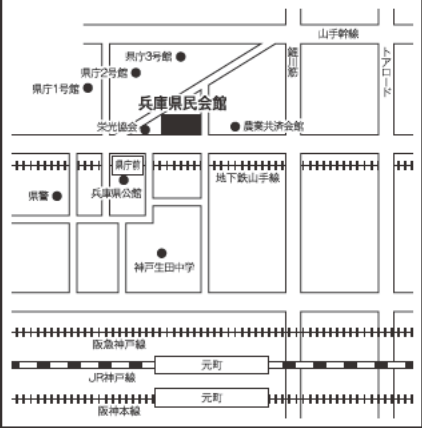
県立のじぎく会館

- JR、阪神「元町駅」から北へ徒歩15分
- 神戸市営地下鉄「県庁前駅」下車、北へ徒歩5分



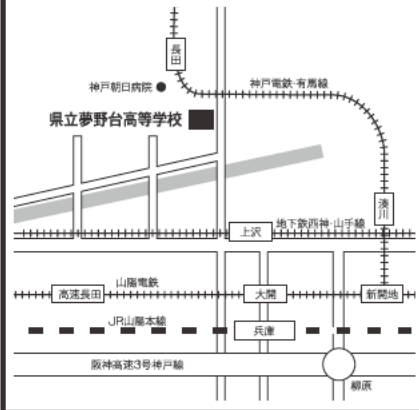
兵庫県民会館

- 地下鉄山手線「県庁前」東出口1から右へ50m
- JR神戸線「元町駅」より北へ徒歩約7分



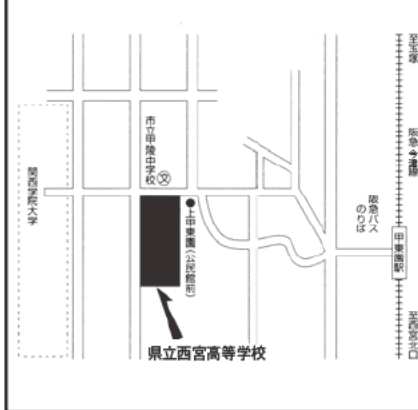
県立夢野台高等学校

- 神 鉄 長田駅から南へ徒歩約10分
- 神 鉄 湊川駅から西へ徒歩約15分
- 地下鉄 上沢駅から北へ徒歩約10分
- 高 速 大開駅から北へ徒歩約15分
- J R 兵庫駅から北へ徒歩約25分



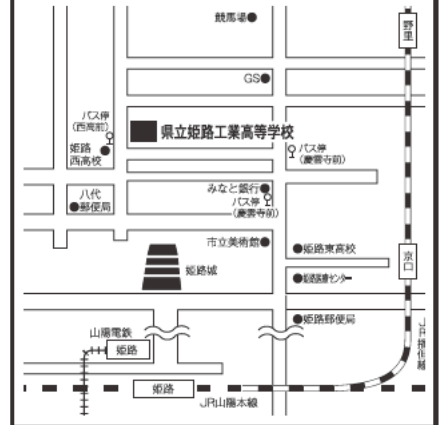
県立西宮高等学校

- 阪急今津線「甲東園駅」下車、西へ800m



県立姫路工業高等学校

- JR「姫路駅」北口、山陽電鉄「姫路駅」より神姫バス(医療センター経由)「慶雲寺前」下車、徒歩6分
または神姫バス(西高経由)「西高前」下車、徒歩すぐ
- 播但線「JR 野里駅」より神姫バス(医療センター経由)「慶雲寺前」下車、徒歩6分



【試験当日の緊急連絡先】

(090) 3357-7815・7816 教職員課選考試験係

※試験当日のみ通話可